

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 10 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置している焼山監視カメラによる観測では、^{さげびざわ}叫沢源頭部及び湯沼の噴気の高さは 30m 以下で噴気活動は低調な状態となっています。

・地震や微動の発生状況（図 2②）

火山性地震は少ない状況が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1※ 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状況（10 月 27 日 19 時 40 分頃）

- ・ 山頂の西約 2 km に設置されている焼山監視カメラ（東北地方整備局）による。
- ・ 赤丸実線で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ 30m。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 11 月分）は平成 24 年 12 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

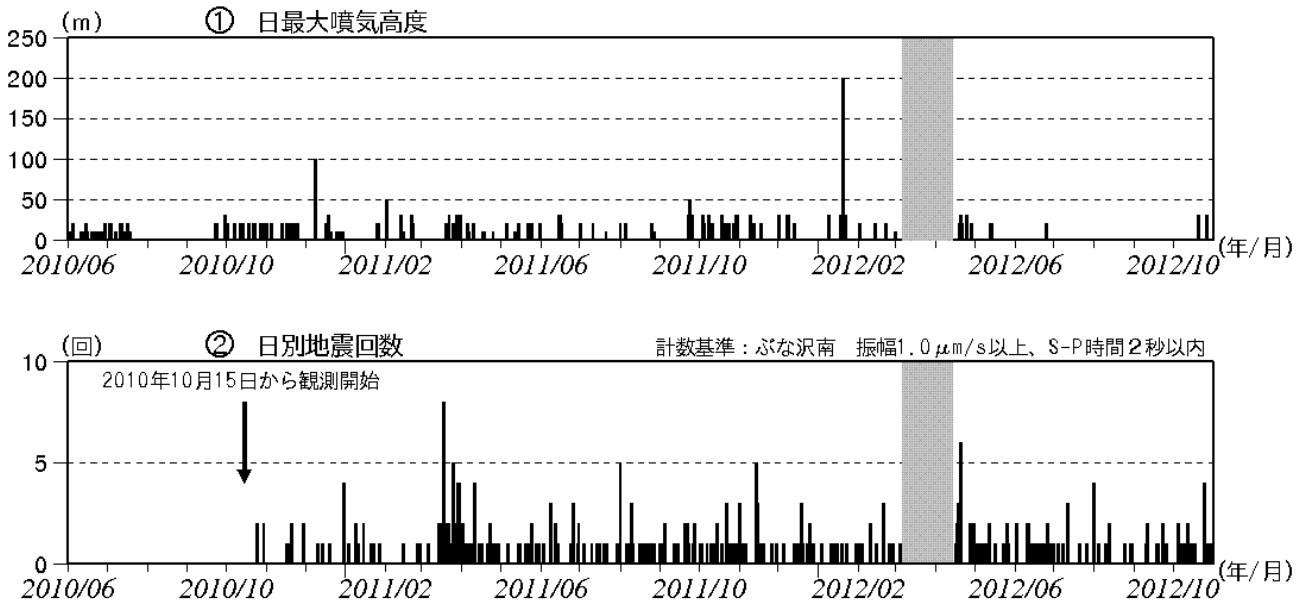


図2 秋田焼山 火山活動経過図 (2010年6月～2012年10月)

- ・①2010年6月1日から焼山監視カメラ (東北地方整備局) により観測開始。
- ・②2010年10月15日から観測開始。
- ・2012年3月6日～4月13日 (図の灰色部分) は機器障害のため欠測となっています。

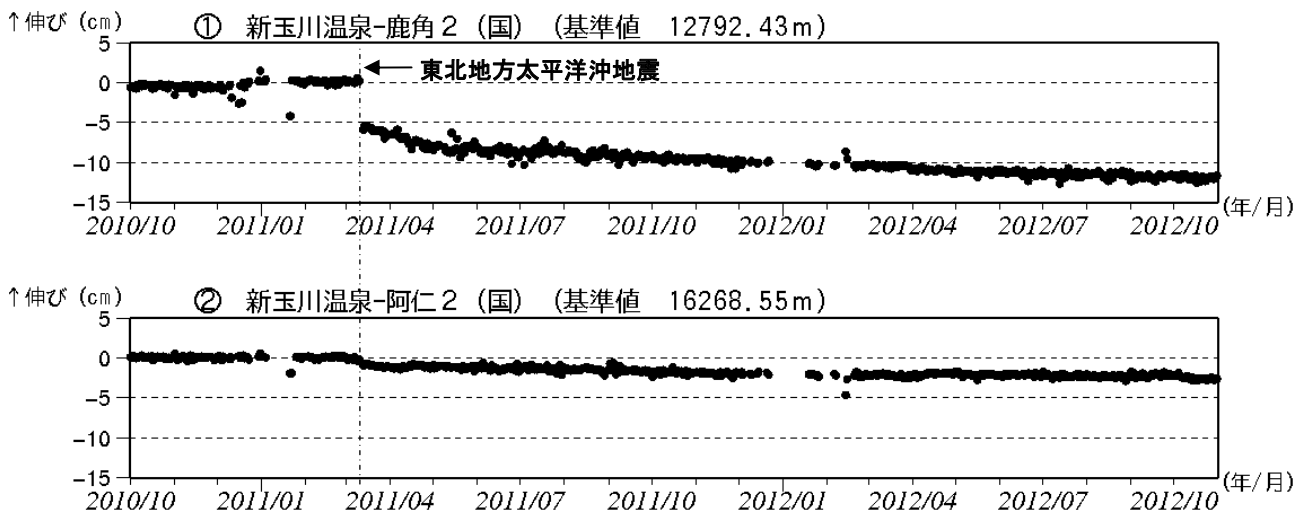


図3* 秋田焼山 GPS 基線長変化図 (2010年10月～2012年10月)

- ・2011年3月11日以降の縮みの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・①～②は図5のGPS基線①～②に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。

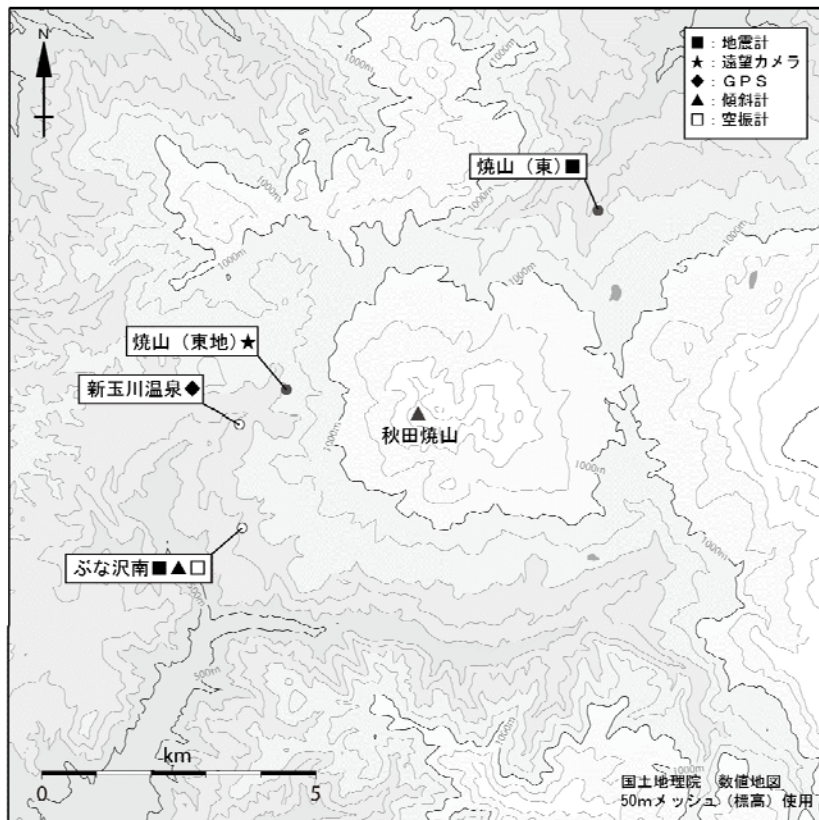


図 4 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

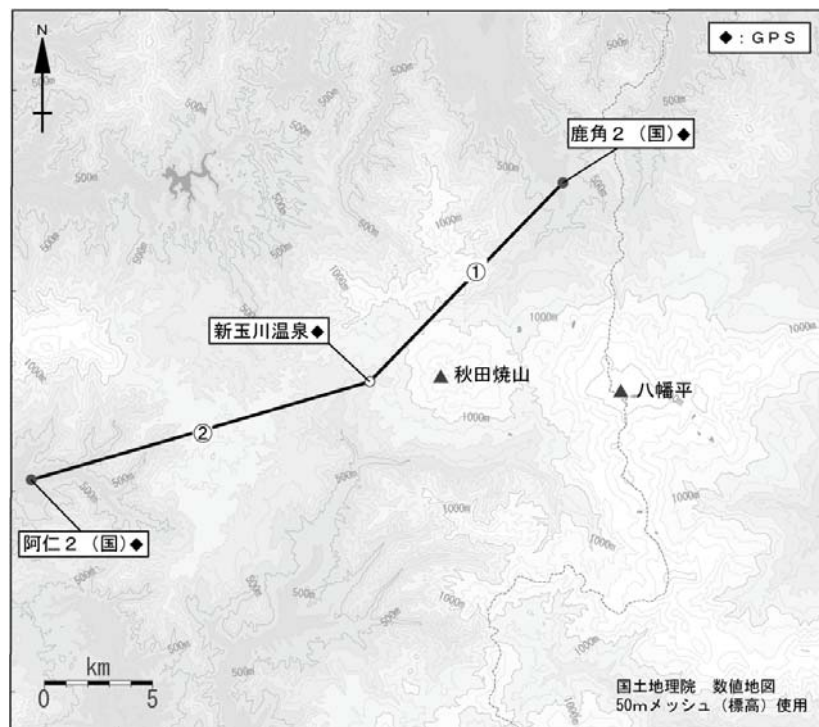


図 5 秋田焼山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院